【授業科目】看護倫理　　Nursing　Ethics

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
三好 陽子	３年次 前　期	必　修	1	１５	講　義	あり	巻末 掲載	可

授業概要（内容と進め方）及び課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／現代医療・看護の現場には医療技術の発展や社会の変化に伴うさまざまな倫理的課題があります。本科目では、より質の高い看護を提供するために、医療・看護実践の場における倫理的課題に気づき、適切な倫理的判断を行うために必要な理論や方法論について学びます。そして、医療・看護現場において看護者が遭遇する倫理的問題やジレンマについて、一人ひとりがどのように判断し、対応していけばよいかについて、具体的な事例を用いながら一緒に考えていきます。 課題に対するフィードバック方法／授業ごとに提出されたリアクションペーパーの質問・疑問に対し、次の授業時に返答・解説します。
実務経験に関する授業内容	看護師の臨床経験をもつ教員が、看護師として必要な看護倫理の知識について、看護倫理の資料・教材を交えながら指導していく科目である。
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー①「高い倫理観に基づく人への尊厳や配慮（ヒューマンケア）を基盤とした看護を実践することができる」の達成に寄与している。
到達目標（履修者が到達すべき目標）	(1)　生命・看護倫理の歴史的変遷の理解を踏まえ、生命倫理・看護倫理の必要性・重要性について説明できる。 (2)　生命・看護倫理の歴史的背景から関心のある内容を情報収集してまとめ、自分の感じたこと、考えたことを表現することができる。 (3)　看護倫理の基盤となる理論や概念について概説できる。 (4)　倫理綱領の理解を踏まえ、その意義、活用の在り方について自分の考えを述べられる。 (5)　看護実践上の倫理的問題・課題への対応について考えることができる。
時間外学習に必要な内容・時間	【事前学習】第１回～8 回 1 年次の一般教養の倫理学の復習を含め、授業テーマに応じて指定の教科書､資料を事前に熟読し、要点をまとめる等、下調べをして出席する（各２時間）。 【事後学習】第１回～8回各回での学びを復習することで知識を確認し、不明な点等があれば調べ教員及び授業において質問する/学びを活用し自身の考えを整理・言語化（＝文章化）する（各２時間）。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第１回　授業オリエンテーション 看護倫理とは 看護倫理の基本となる理論と概念 第２回　生命倫理・看護倫理の特徴・歴史、生命倫理の原則 －生命・看護倫理の歴史的背景をふまえて- 第３回　グループワーク ・医療倫理の歴史的事件に関するディスカッション ・発表用資料の作成 第４・５回　グループワーク課題の発表 第６回　看護実践における倫理的問題へのアプローチ 倫理的問題の概要 倫理的分析と意思決定のための方法論 専門職の倫理 看護職の倫理綱領 第７・８回　生命倫理の諸問題・看護実践上の倫理的課題に関するグループ発表・まとめ 全て 三好
評価方法 評価基準	定期試験 80%、グループワーク 20%
教科書	1.（系統看護学講座別巻)看護倫理 第２版, 医学書院
参考書等	・サラ T･フライ, 片田範子他訳：看護実践の倫理, 第 3 版, 日本看護協会出版会, 2010. ・宮坂道夫他：医療倫理学の方法, 第 3 版, 医学書院, 2017. ・手島恵監修：看護者の基本的責務(2020 年版), 日本看護協会出版会. ・ジョイス･E. トンプソン他, ケイコイマイ･キシ他訳：看護倫理のための意思決定 10 のステップ, 日本看護協会出版会, 2010. ・石垣靖子他：臨床倫理ベーシックレッスン―身近な事例から倫理的問題を学ぶ, 日本看護協会出版会, 2012.
学生への助言等	看護行為は倫理的行為そのものです。より質の高い看護を提供するために、看護の現場にある倫理的課題に「気づく」こと、倫理的課題の解決のために「なにをすべきか」を考えること、倫理的課題の解決のための「対話」を行うことができることが重要です。倫理的な感受性、判断・対応能力を高めていくために、事前・事後学習に努め、主体的・積極的に授業に参加して下さい。